



平成25年度 進路だより

Frontier Spirit!

J. Hinata

1～3年進路講演会より —基礎・基本の重要性—

ハイライト

- ・進路講演会より
- ・夏の学習
- ・新課程入試の状況
- ・山梨大学前期の合否実態

夏休みの進路関係行事

- 7/28(日)
代ゼミマーク模試③
- 7/29(月)～31(水)
課外Ⅰ期③
登校学習可能期間①②
- 8/1(木)～5(月)
宿泊学習会①②③
- 8/1(木)～3(土)
課外Ⅱ期
登校学習会①②
- 8/5(月)～9日
登校学習可能期間①②
- 8/5(月)～7(水)
課外Ⅲ期③
- 8/7(水)～11(日)
登校学習会③
- 8/8(木)～10(土)
課外Ⅳ期
- 8/11(日)～12(月)
大学別模試③
- 8/17(土)～18(日)
大学別模試③
- 8/18(日)
学研ハイレベル模試②
代ゼミトップレベル模試①
- 8/19(月)～24(土)
登校学習可能期間①②
- 8/19(月)～21(水)
課外Ⅴ期
- 8/22(木)～23(金)
3年校内実力試験
- 8/26(月)
始業式・大掃除など

※○数字は学年を示します

南高生が熱く燃えた緑陽祭、そして第2回定期試験が終わり、夏休みを直前に控え三者懇談が始まろうとしています。

このような状況のなかで、先日1～3年生に向けて進路講演会が開催されました。3年生には代々木ゼミナールの刈谷英夫様が、1・2年生にはベネッセコーポレーションの松崎周平様がそれぞれ皆さんに向けて熱いメッセージを残してくれました。

そのなかでも両講師に共通していたのは「基礎・基本の重要性」ではないでしょうか？ちなみに皆さんは東京スカイツリーをすでに見学しましたか？東京タワーと比べて高さは634mと約2倍、地下の杭の長さは50mで約3倍です。自然界においてもあの美しい桜は枝を幹が、幹を根っこ（地下の杭）が支えています。決して目には見えませんが、実は一番重要な部分だと考えます。

入試問題も基礎・基本のうえにできています。限られた時間のなかで初見の問題に自分の持っている引き出しのどこを利用するか、その判断を瞬時におこなわなければなりません。そのためには基礎・基本の知識の引き出しをたくさん持とうとすることが重要なのではないのでしょうか？基礎・基本の知識を疎かにして難問や過去問の演習ばかりに目が行くようでは合格しにくいと改めて感じました。



3年進路講演会<代ゼミ>

夏の学習

南高にとって「夏」という時期は特別な意味を持ちます。以下各学年における「夏」の過ごし方について記しておきます。

【3年生】 「夏を征する者は受験を征す」。来たるべき冬に向けて、この暑い「夏」にどれくらい体力と精神力とを培うことができるか。課外は3日間×5期、加えて宿泊学習会や登校学習会で問題を考え抜き、解き抜く粘り強さを身につけてほしい。代ゼミセンタープレや大学別模試、さらに校内実力試験を通じて自分の学力がこの夏にどれくらい伸びたのか実感できることを願う。

【2年生】 今年の「夏」はターニングポイント。この夏を過ぎればいよいよ高校3年間の折り返しとなる「秋」がやってくる。この夏こそが今まで南高で習った範囲をしっかりと定着させる最後のチャンス。目の前の「課題」に取り組むなかで理解できていない部分などをチェックし、復習・反復しよう。秋からは模試も5教科。受験に向けて既習範囲を盤石なものにしていこう。

【1年生】 高校生活初めての「夏」。南高の夏は中学校までの夏休みと大きく違う。数多くの課題、登校学習会、登校学習可能期間、夏休み後半には午前中授業と勉強と向き合うための「仕掛け」が多い。その「仕掛け」を活用すればすればほど自分の成長に役立つながっていく。是非先輩の歩んできた「軌跡」を大事にしてほしい。

新課程入試の状況 ～実施のタイムスケジュール～

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
	2012年度入試 (センター改訂)	2013年度入試	2014年度入試	2015年度入試 (理数は新課程)	2016年度入試 (全体が新課程)
高3	旧 倫・政対応	旧	旧	理数のみ新	全体が新
高2	旧	旧	理数のみ新	全体が新	全体が新
高1	旧	理数のみ新	全体が新	全体が新	全体が新

現在の2年生が受ける入試、すなわち平成15年度入試より大きく入試内容が変わります。

以下に要点を記しておきます。

【**文系**】 現行のセンター試験では理科1科目ですが、新課程では原則理科2科目(基礎的内容)となる。

【**理系**】 現行のセンター試験ではⅠの範囲までを2科目受験するが、新課程では原則Ⅱの範囲まで2科目受験することとなる。

【**数学**】 現行のセンター試験+ α が試験範囲となる。

※1・2年生だけでなく、現在の3年生にも関わってくる可能性があります。最新の情報に注意してください。

■ 2015年度入試を受けることになると…

文系…現行:理科1科目 → 15年度:理科2科目(基礎的内容)

理系…現行:理科2科目(Ⅰの範囲まで)

→ 15年度:理科2科目(Ⅱの範囲まで)

数学…現行の範囲 → 15年度:現行の範囲+ α

山梨大学前期の合否実態

■教育人間・科学教育(前期)配点比率

	センター	国語	数学	理科	英語	2次試験
		1科目以上				2教科選択
現行	600	200	200	200	200	400

■教育人間・科学教育(前期)センター試験点数

得点率	得点	科学教育	
		合	否
70	420	1	
69	414		
68	408		
67	402	3	
66	396	4	5
65	390	2	3
64	384	1	
63	378	1	1
62	372		4
61	366	1	1
60	360		
59	354	1	3
58	348		2
57	342		2
56	336		3

■機械工学科(前期)配点比率

	センター	数学	理科	2次試験
現行	900	150	100	250
2014年度入試	900	250	150	400

■機械工学科(前期)センター試験点数

得点率	得点	機械工	
		合	否
69	621	1	
68	612	1	1
67	603	2	
66	594	4	
65	585	4	
64	576	6	1
63	567	4	6
62	558	9	3
61	549	4	
60	540	5	10
59	531	1	4
58	522	1	5
57	513		2
56	504		

上表は、昨年度の山梨大学前期の文系・理系の合否状況です。左側が文系、センターと2次試験の配点比率は3:2、右側が理系、配点比率は9:2.5です。文系・理系ともにセンター試験の得点に重きを置いているにもかかわらず、実際はどうでしょう?とくに工学部は今年度入試より配点比率を9:4に変更します。センター試験に対応しつつ、数ⅢCや理科Ⅱまで視野に入れた学習を心がけよう。

URL <http://www.kofuminami-h.ed.jp>

E-mail shinro@kofuminami-h.ed.jp